

学習指導案略案(外国語・外国語活動)

学年・学級	5年●組	指導者		単元時数	第8時間目 / 8時間中
単元名	Where is the treasure? WC1 Unit7				
単元の目標					
本時の目標	相手に配慮しながら、場所を尋ねたり見た案内をしたりする。				
主な言語材料(表現・語彙)					
準備物	「方向」の絵カード、SCRATCHのゲーム、ワークシート、振り返りシート (場所は通信環境により、コンピュータ室か教室など。)				
流れ等	主な学習活動(◆) ※活動の流れは、「Let's Try! さがみはら英語授業スタンダード」に基づいたものです。			指導上の留意事項(◎) 教師の英語使用例(■)	教材 教具等
はじめ 5分	1	Opening	◆Greeting ◆Chant "Where is the treasure?"	◎しっかり元気よく、英語モードに! ■	
	2	Warm-up			
展	Pre-Activity			◎1度確認してから、リズムよく。 ◎楽しみながら、2人で協力して達成するクエストだということを理解させる。 ■	「方向」の絵カード
	3	Review	◆コマンドゲーム (あるいはサイモンセツズゲーム)		
	4	Watch & Think	◆Challenge活動のデモ 1. HRTと代表児童で見せるか、学年の先生同士、あるいはALTとHRTとでビデオを撮っておき、児童にどんなことをするかを見せる。 2. どんな会話をしていたかを児童に聞く。		
	Today's goal: 「ペアで協力して、目的地にたどり着こう! 」				
開 35分	Main-Activity			◎ゲームで動かすことに夢中にならないよう、時々止めて、練習する。特に理由はその場で思いつくものを答えるようにさせる。 ◎単にスローガンを言わせるのではなく、どんな時に使えるか、児童に言わせる。 T: "I like books!" Ss: "Me too!" / "I see!" (表情もつけてみて!と声をかける) ■Make pairs. One is a visitor. The other is a guide. Who is a visitor? (手を挙げさせる) Who is a guide? (手を挙げさせる)	SCRACHのゲーム SCRACHのゲーム
	5	Practice	◆SCRATCH (プログラミング) で作られたゲームを使い、道案内の模擬授業をする。 1. しっかりと会話の流れを練習する。文字などに頼るのではなく、しっかりとイメージをもたせる。 2. フレーズが言えるようになったら、リアクションや「スローガン」をどう使ったらいいか、声をかける。		
	6	Challenge	◆ルールを説明しながら、Watch & Thinkで見せたデモをもう一度見せる。 1. ペアを作る。 2. visitorには、どこに行きたいかを、選ばせる。(今回はクエストなので、選択肢の中から。) 3. guideには、指令書を渡す。(場所、あるいは行き方がわかるもの) 4. 2人で、会話をしながら、プログラムを動かしていく。 5. たどり着いたら成功! 6. メンバーチェンジ、あるいは、時間制限まで、行きたい場所を替えて行う。		
<p>B: Where do you want to go? A: I want to go to ~. B: Why? A: I like ~. B: Oh, nice. / I see. / Great. Go straight, turn right, turn left. You can see it on your (right / left). (A: Here) A&B: That's right!</p>					

		<p>【本時の評価(方法)】及び【目指す児童の姿(英語)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までに体を動かしながら学んだ英語の知識、表現 (道案内)を使い、それをプログラミングにも生かせることに気付かせ、英語を使う意欲を高める。【意欲】 ・場面を意識させながら、協力して目的地にたどり着けるように、他者に配慮し、しっかりと声を掛け合ってコミュニケーションを取ろうとしている。【相手への配慮】 		
Post-Activity				
7	Wrap-up	<p>◆読みの活動 We Can! フォントで作ったシートを読みながら、1語、書き写す。</p> <p>◆</p>	<p>◎既に言うことができる表現を、先生と字をなぞりながら読んでいる。</p> <p>◎We Can! の誌面を見ながら、1語書き写せている。</p>	ワークシート
8	Reflection & Encouragement	<p>◆口頭でシェアし、振り返りカードに記入する。</p> <p>◆担任から、児童がよくできたことを伝える。</p>	<p>◎今日頑張ったこと、出来たこと、気づいたこと、これからやってみたいことなど。達成感をシェアする。</p>	振り返りカード
おわり 5分	9 Closing	◆Greeting	■That's all for today's lesson.	

※「Let's Try! さがみはら英語授業スタンダード」に基づいて短時間での作成を目的にした略案です。

※略語① Let's Try!:LT、We Can!:WC、Hi, friends!:HF、Hi, friends! PLUS:HFP、Hi, friends! Story Books:HFSB

※略語② 学級担任:HRT 児童:S 児童たち:Ss